

6月21日は「世界水路の日」です。

1921年（大正10年）6月21日に「国際水路機関」（IHO）が設立されたことを記念し、船舶交通の安全に不可欠な海図刊行等の水路業務の重要性を広く知ってもらうため、毎年6月21日は「世界水路の日」と定められています。

国際水路機関（IHO）を知っていますか。

IHOは、海図や水路誌などを改善し、全世界の航海をより容易かつ安全にすること目的としており、「国際水路機関条約」に基づく国際機関です。海は全てつながっているため、国際的に統一された基準で、測量を行い海図を作成する必要があり、IHOは、国際基準の作成や海図の品質向上に関する重要な役割を果たしています。

2017年5月現在、87カ国が加盟し、事務局はモナコ公国に設置されています。事務局には、当庁職員を派遣し、連携を強化しています。

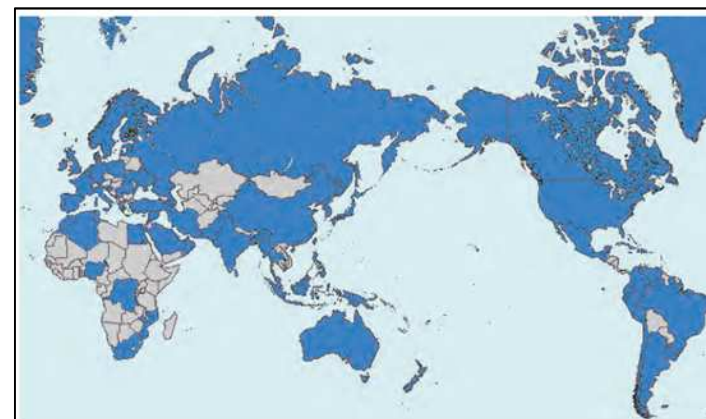
IHO: International Hydrographic Organization



モナコ公国



事務局



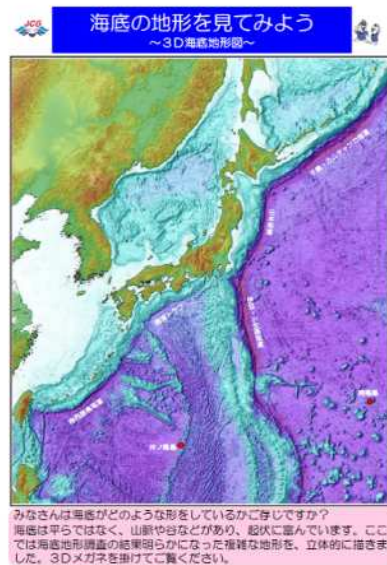
IHO加盟国 青色

「世界水路の日」ポスター展

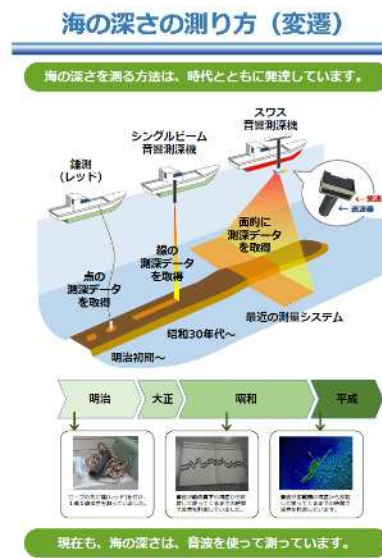
第九管区海上保安本部海洋情報部では、「世界水路の日」にあわせ、美咲合同庁舎2号館1階、玄関ホールにおいてポスター展を行います。

期間 平成29年6月19日(月)～23日(金)

主な展示物



3D海底地形図



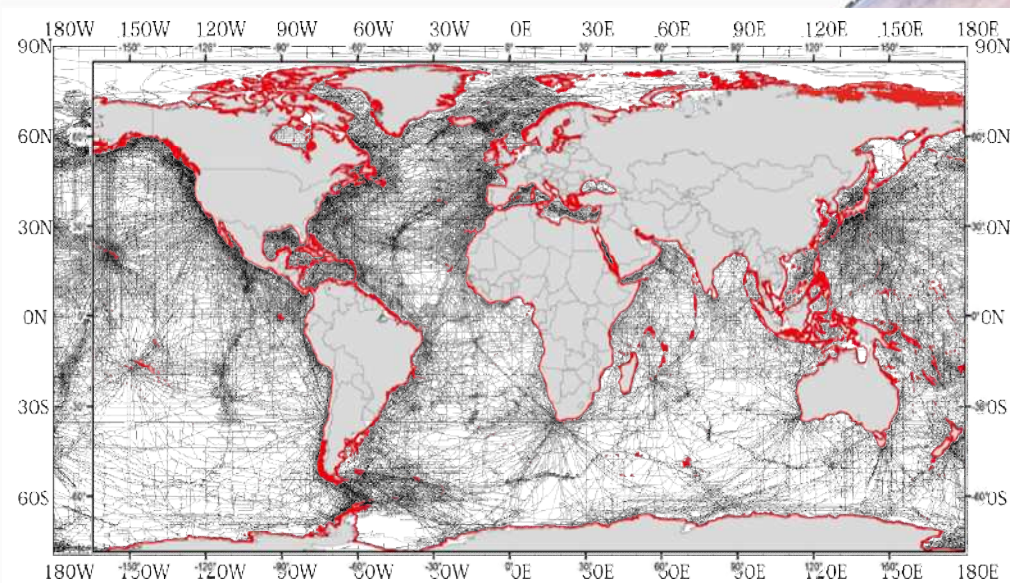
海の深さの測り方



海図「新潟港」の変遷

"Mapping our seas, oceans and waterways - more important than ever -"

“我々の海を、大洋を、水路を測る。
これまでになく大事なこと。”



大洋水深総図(GEBCO)に使用されている測量データの航跡

